

ブロック造による潤いあるセーフガレージ

災害後、家が使えなくなった場合の緊急避難所として。
ライフライン断絶でも自活できるスタンドアローン型。

1. 災害対策

- 構造：地震、火災、水害対策として、災害に強いブロック造。
- 水害からの避難対策：ガレージ天井にゴムボートを常備。
- 水害時、上部の開口部から救命ボートで避難及び移動可能。

2. 3坪の備蓄倉庫を設置

- 備蓄倉庫には最低3日分の飲料水及び食料を常備。
- 避難生活が送れるように生活必需品を避難生活セットとして常備。
- 主屋が被災した場合の避難所として寝泊まりを可能とする。
- 備蓄倉庫の棚を2段ベッドとして4人分のスペースを確保。
- シャワーとトイレを設置、それに伴い浄化槽の設置。

3. 駐車場部分と備蓄倉庫部分による「L型プラン」

- 備蓄部分は避難生活空間ともなり、駐車場部分とは分ける。
- 駐車場部分と備蓄倉庫部分を分けるためL型のプランとする。
- L型に囲まれた部分を屋外空間として有効利用する。

4. 「セーフガレージ」を敷地のコーナーに配置する。

- 道路側の敷地のコーナーに配置し敷地の有効利用を図る。
- 敷地のコーナーに潤い空間を設ける
- L型に囲まれた部分は、石貼り等の舗装とする。
- L型に囲まれた部分の上部はパーゴラとする。
- 屋外での団欒や食事を可能とし、雨天用にテントも設置可能。

5. 太陽光の利用

- 屋根にはソーラーパネルを設置し、蓄電と売電。
- 蓄電により、ソーラーカーと避難所生活のエネルギー源とする。
- 太陽熱調理器により屋外で調理し食事ができるようにする。

6. 井戸の利用

- 防火用水、洗濯、シャワー、トイレ洗浄の生活用水に井戸の利用。
- 平常時は庭の散水に利用

7. 無味乾燥な駐車場周辺に緑ある潤いある空間の演出

- ブロックの外壁に緑の写真をプリントし潤いを演出する。
- 屋根は緑色のスレートあるいはカラー鉄板とする。
- 敷地外部及びL型部分に、緑溢れる潤いある空間を演出する。

